

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: osk_CASBEE-BD_NC_2014(v.3.01)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)吹田市藤白台1丁目マンション	階数	地上5F
建設地	大阪府吹田市藤白台1丁目103-30	構造	RC造
用途地域	第1種中高層住居専用地域、防火指	平均居住人員	279 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年3月 予定	評価の実施日	2016年6月15日
敷地面積	2,033 m ²	作成者	株式会社プレジオ 田上猛
建築面積	900 m ²	確認日	2016年6月15日
延床面積	3,493 m ²	確認者	株式会社プレジオ 田上猛



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算
 ①参照値 100%
 ②建築物の取組み 81%
 ③上記+②以外の 81%
 ④上記+ 81%

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.4

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.0

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.5

LR 環境負荷低減性

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.5

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.8

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合		その他
第1種中高層住居専用地域に建つ共同住宅として、建築物の環境品質を高めると同時に周辺に対する環境負荷を抑えるよう計画した。		
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
①開口部遮音性能T-2、界壁遮音性能TLD-56、部材性能LL-45 ②共用部昼光率=7.2%、住戸昼光率=1.7%。 ③カーテンと庇を組み合わせてグレアを制御可能。	①天井高さ2.5m以上を確保している。 ②壁=ビニルクロス(20年)、床=ビニルクロス(30年)。 ③給水管=VP(B)、給湯管=ポリブデン管(B)、汚水管=	①外構緑化指数=63.51%、空地率=50.88% ②中高木・ピロティ等水平投影面積率=22.17% ③緑被率、水被率、中高木の水平投影面積率=36.29%
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
①断熱等性能等級3 ②一次エネルギー消費率=1.00	①LSG+ボードなど解体時に分別しやすい工法としている。	①光害ガイドラインのうち一部を満たし、屋外広告物は過半を満たす。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム 2015年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H28-0052

Osakafu-新築・既存 2015V1.03

【建物概要】	建物名称	(仮称)吹田市藤白台1丁目マンション新築計画
	建設地	大阪府吹田市藤白台1丁目103-30
	用途/区分	集合住宅

【評価結果】	CASBEE 総合評価		B+
---------------	----------------	--	-----------

	CO2削減		4
--	-------	--	----------

	省エネ対策		3
--	-------	--	----------

	みどり・ヒート アイランド対策		3
--	--------------------	--	----------

再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—		
	太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—		

エネルギー消費量の報告		対象外
-------------	--	-----

【評価項目】

省エネルギー対策	① CO2削減		
	② 省エネ対策		

項目	評価内容	スコア	評価	
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	3.7	4	
② 省エネ対策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 2」 のスコアによる評価	建物全体 3.0 住戸・宿泊 3.0	3
	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	3.0	
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	3.0	
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	4.0	
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価	3.0	
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価	3.0	
	エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	

みどり ヒートアイランド対策	③ みどり・ヒートアイランド対策		
-------------------	------------------	--	--

項目	評価内容	スコア	評価
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	2.0	3
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	3.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	3.0	

【その他】

	技術の名称	考慮事項
先進的技術の導入		
特に配慮した事項		